3. 写真で見る乾草の品質判定

ここでは、今回調査した 5 草類の輸入乾草 19 サンプルについて、広角および拡大 写真を示します。それぞれに、購入単価と、主な飼料成分の分析値を添えました。

さらに、写真の下に品質判定に関するコメントを示しました。前段は「見た目」からのコメントで、前項で紹介した乾草判定色紙による色調(緑度)、生育ステージ、品質の推定を記述しました。後段は「分析値」からのコメントで、日本標準飼料成分表(2009 年版、中央畜産会)に掲載の成分値との比較を中心に示しました。

ひとつひとつが異なる乾草について、品質の見方や判定のコツ、乾草同士の比較など「見る目」を養い、農家現場での品質判定のヒントにしてください。

※ サンプル No. 1-8: スーダングラス、No. 9-14: アルファルファ、No. 15-16: エンバク、 No. 17-18: クレイングラス、No. 19: チモシー

※ 購入単価は、農家への聞き取りによる庭先入手価格です。

※ 飼料成分用語

CP:粗蛋白質

NDF : 中性デタージェント繊維 (総繊維)

CF: 粗繊維

NO3-N:硝酸態窒素

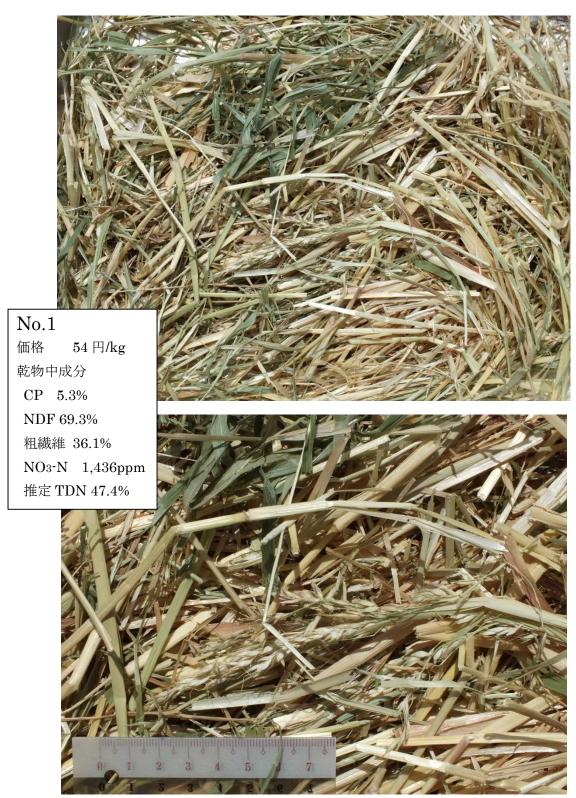
_参考) 飼料の硝酸態窒素と家	畜中毒の関係 (メリーランド大学)
乾物中の硝酸態窒素濃度	危険の有無と注意点
0~1,000ppm	どのような状態でも安全。
1,000~1,500ppm	非妊娠牛では安全。妊娠牛では総飼料の50%以下に制限する。
1,500~2,000ppm	総飼料の50%以下に制限する。
2,000~3,500ppm	総飼料の30~40%に制限する。妊娠牛には給与しない。
3,500~4,000ppm	妊娠牛には給与しない。25%以下に制限する。
4,000ppm以上	中毒のおそれがあるので、給与しない。

TDN : 可消化養分総量。飼料分析値に日本標準飼料成分表 (2009 年版)

掲載の消化率を掛けて算出した推定値で示します。

※ 色調(緑度)の値は、乾草サンプルを実際に見ての判定であるため、写真に写った部分の色の印象、あるいは印刷の色の印象などと、若干のずれを生じる場合があります。

(1) 【スーダングラス乾草】上: 広角写真 下: 拡大写真

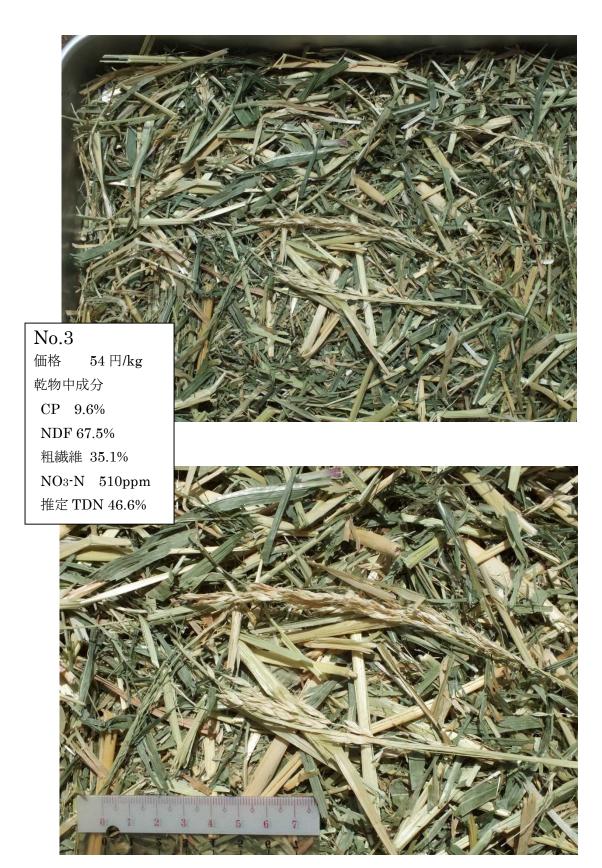


色調 45 生育ステージ: 出穂期 茎が目立ち、CP が低く繊維が高そうな印象。緑度からは硝酸態窒素の心配はなさそうに見える (しかし、実際の分析値は高めだった)。 分析値は、日本標準飼料成分表の「輸入乾草スーダングラス ($CF \ge 35\%$)」に比べて CP がやや少ない。



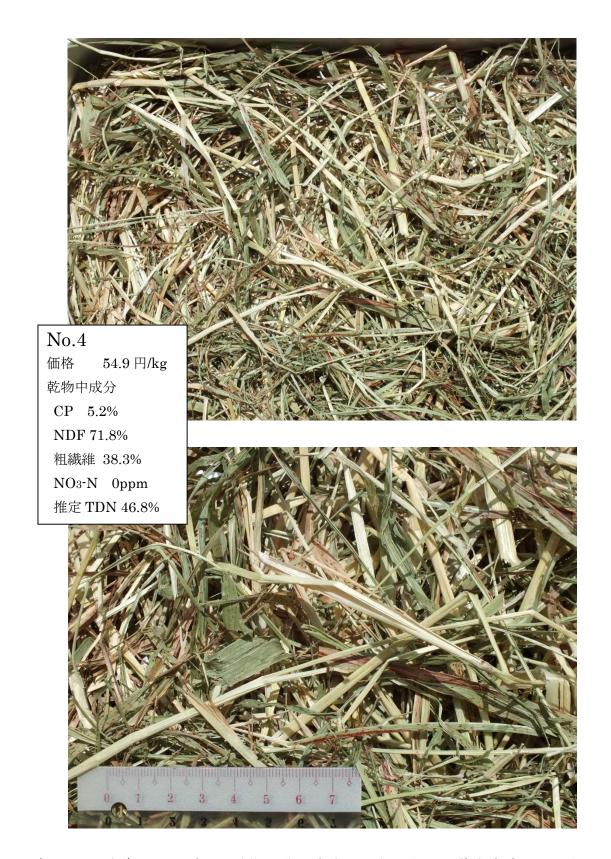
色調 50 生育ステージ: 穂が見当たらず、出穂前か? 判断が難しい。 スーダンにしては緑度が高い。茎が細く、生育ステージが若いとしたら硝酸態窒素が不安(分析値は低く安全だった)。

日本標準飼料成分表の「輸入乾草スーダングラス($CF \ge 35\%$)」に比べて CP がや や高い。相対的に CF が高く CP が低いため、成分からみれば出穂前ではなさそう。



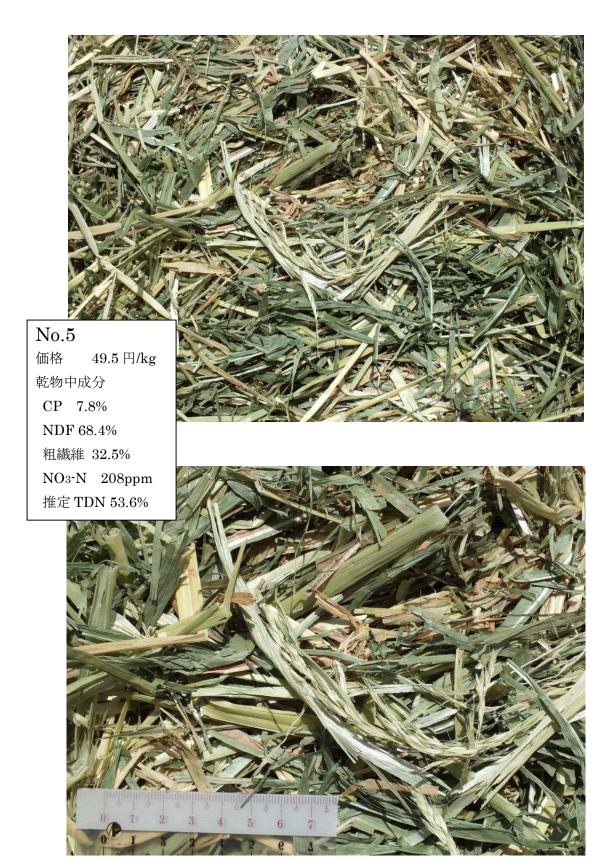
色調 50 生育ステージ: 出穂~開花期 茎の太さがまちまちであることから、2 番草かもしれない (1 番草より生育の斉一性が劣ることがあるため)。

分析値は、日本標準飼料成分表の「輸入乾草スーダングラス($\mathrm{CF} \! \ge \! 35\%$)」に比べて CP が高い。



色調 45 生育ステージ:出穂期 茎の太さがまちまちで、紫斑点症が認められることから、2番草かもしれない(2番草のほうが病害が出やすいため)。

分析値は、日本標準飼料成分表の「輸入乾草スーダングラス($\mathbf{CF} \ge 35\%$)」に比べて \mathbf{CP} が低い。



色調 50 生育ステージ: 出穂期 茎の太さが比較的均一。スーダンにしては緑度が高く、1 番草ではないかと考えられる。

分析値は、日本標準飼料成分表の「輸入乾草スーダングラス(30% < CF < 35%)」にほぼ相当している。



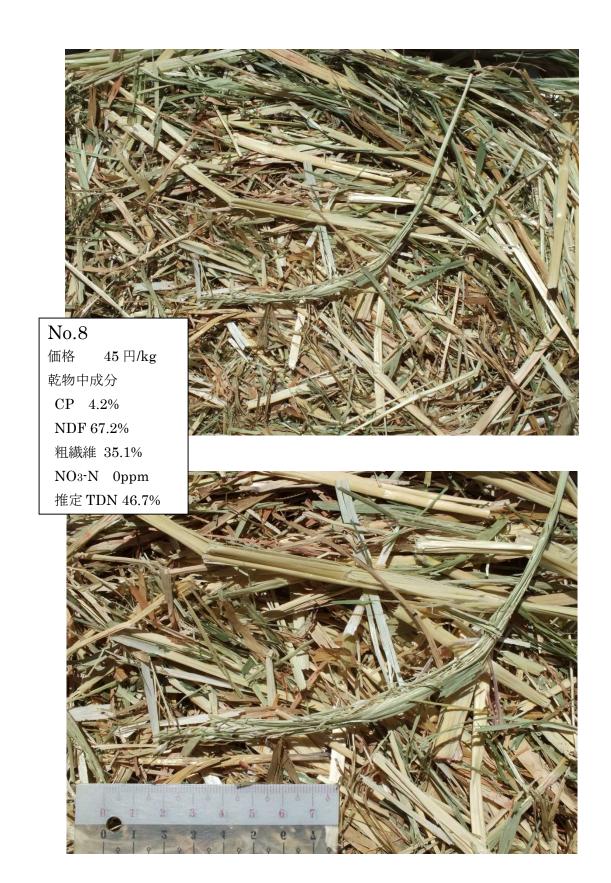
色調 55 生育ステージ: 出穂期 葉に対して、茎が太く量が多い印象だが、そのわりに緑度が高く感じられる。

分析値は、日本標準飼料成分表の「輸入乾草スーダングラス(30% < CF < 35%)」にほぼ相当している。



色調 50 生育ステージ: 出穂期 茎の太さは比較的均一だが、やや赤く紫斑点症が出ている。そのため、刈遅れか、2番草かと考えられる。

分析値は、日本標準飼料成分表の「輸入乾草スーダングラス(($\mathbf{CF} \ge 35\%$)」にほぼ相当している。



色調 45 生育ステージ: 出穂期 茎の太さは比較的均一で、1 番草かと考えられる。 分析値は、日本標準飼料成分表の「輸入乾草スーダングラス($CF \ge 35\%$)」に比べて CP が低い。